

【File No. 9 | 傘岩 かさいわ】



大正から昭和初期の傘岩周辺（旅館と傘岩が見える）

傘岩は、1934（昭和9）年に自然の岩が風化侵食によって特異な形で進行した珍しい例として、国の天然記念物に指定された。この岩は黒雲母花崗岩で形成されており、高さ5.5m、傘の周囲は10.2m、最狭部の周囲は2.3m。最初は天頂部のみが地表からのぞいていたが、侵食で現在の巨大なキノコのような形状になった。その風変わりな形状から、昔から旅人の目印になったとの話もある。

近年、最狭部が風雨の劣化によって細くなっていることが懸念されている。専門家の現地調査により、傘岩は自然のままの状態でここにあることが天然記念物としての価値であり、補強のための杭や凝固剤などによる処理に耐えられず、逆に倒壊してしまうという指摘もなされている。今後も市民、行政で協力し、注視しながら守りたい文化財である。

ひとロメモ

傘岩は、「この何とも倒れそうな絶妙な形で自然に立っていることに、天然記念物としての素晴らしさがある」との国の見解。気の遠くなるような時を経て、現在まで立っている姿を見ると見学者も元気が出そうだ。

恵那写真館

私の大好きな1枚
（撮影地：三郷町）

三郷町 瀬織 慎之さん



私は三郷町に住み、この風景が大好きです。恵那市街地に行く途中、車中から見る冠雪の中央アルプスを望む風景は、まさにふるさとの絶景です。

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募く
ださい！



ふるさとの絶景

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで企画課広報広聴係へ提出する。

次号は
2月15日号

発行日は
2月14日(金)です

広報えな No.213
2014年(平成26年)
2月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』2月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約9.0円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)
音声告知放送の文字版ページ
(閲覧用QRコード)
☎ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

